

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	なのはな園		
○保護者評価実施期間	2026年 1月6日		～ 2026年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2026年1月13日		～ 2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 25
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・家庭との連携を重視し、継続的かつ丁寧な情報共有を行っている。	・連絡帳や電話等を通じて家庭での状況や課題を丁寧に把握し、必要に応じて面談を実施するなど、保護者との情報共有を計画的に行っている。 ・家庭と園の双方で共通理解を図ることを重視し、継続的な対話と丁寧な連携に努めている。	・保護者に普段の活動の様子がわかるように写真等を使い情報共有をする。
2	・丁寧に移行支援を行っている	・就学する児童に向けて、引継ぎシートを作成し、丁寧に移行支援を行っている。また、移行先からの見学依頼には積極的に対応し、園内の活動を見てもらうことで移行後の姿をイメージしてもらえるようにしている。	・丁寧に移行支援に加えて、移行先の姿も見据えた支援を行っている。
3	・職員一人ひとりのアセスメントに対する意識が高まり、こども理解の深まりが見られる。	・昨年まではアセスメントに対する職員間のばらつきなどが見られたが、アセスメントシートの見直しや遠城寺式乳幼児分析的発達検査を使用するなど統一したアセスメントができてきた。	・アセスメントシートの内容を見直し、より実態に合った形へブラッシュアップを進めていく。 また、アセスメントに関する内部研修を行い、職員間で評価の視点や基準を共有することで、アセスメントシートの記載や評価の統一を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全計画についての周知が足りない。特に非常勤職員への周知を徹底していく。	・非常勤職員は勤務時間の都合上、ミーティングに参加できない場合があるため、安全計画など園全体で共有すべき重要事項の周知にばらつきが生じやすい状況がある。	・非常勤職員にも重要事項が確実に伝わるよう、ミーティング内容や安全計画などの要点を共有できる仕組みを整える。 具体的には、掲示物や連絡ノートの活用など、勤務時間に左右されず情報を受け取れる方法を取り入れ、園全体で共通理解を深められるよう工夫する。
2	医療的ケアへの理解のばらつき	・てんかんについてや薬について、医療的ケアについての理解については個人でのばらつきが見られる。医療的ケアのクラス担任以外は理解が深まりにくい。	・法人内の幼児施設合同研修などを通して、医療的ケアや姿勢についてなどの研修を行っているため、研修を充実させていく。また、どのクラスになっても医療的ケアについて学びが深められる環境を整えていく。
3			